



絶対隷奴
サブリミット

永劫楽嬢

著：神谷 涼

つぎはぎ本舗

成人向け
FOR ADULT

絶対隷奴サブプリメント

ーえいごころかいきー

永劫快姫



絶対隷奴
サブプリメント
永劫快姫
Eternal Pleasure

目次

絶対隷奴



▼目次	4
▼序文	6
▼汎用追加ルール&データ	7
追加アーキタイプ	8
追加ルール	13
追加モンスター	22
▼天界セクション	31
天界とは	32
天界アーキタイプ	34
天界ルール&データ	39
天界モンスター	42
▼疫病界セクション	49
疫病界とは	50
アーキタイプ	53
ルール&データ	54
疫病界NPC	58
キャンペーンシナリオ「三つのカケラ」	62
巻中コミック「フライマスター ハエコ」	83



▼忘却界	87
忘却界とは	88
アーキタイプ	91
ルール&データ	92
忘却界NPC	100
▼退廃界	103
退廃界とは	104
アーキタイプ	107
ルール&データ	108
退廃界NPC	116
▼異能界	119
異能界とは	120
アーキタイプ	124
ルール&データ	125
異能界NPC	132
▼絶対隷奴のFAQ	135
▼奥付	142

序文

以下、エロスを求めてこの本を開いた方には、どうでもいい文章であること、始めにお断り申し上げます。

『絶対隷奴』を昨年の夏に頒布し、ちょうど一年。
その追加データ・魔界設定集として、この『永劫快姫』を送り出すことができました。
まずは『永劫快姫』を手にとっていただいた方に、本当に、心からお礼申し上げます。

最初、第一刷を出した時はこのTRPGが受け入れてもらえるのか、不安でたまらなかったものです。せっかく絵師さんたちや編集の'emeth'さんががんばってくれたのに、自分の内容のせいで酷い評価を受けたらどうしよう、とうじうじ考えていたこともありました。

が。
予想以上に好評を得ることができ、『絶対隷奴』は同人TRPGとして、まずまずの成功を納めることができました。

これは本当に、多くの読者の皆様のおかげです。
前作を楽しんでくださった方、また実際にプレイせずとも読み物として楽しんでくださった方のため、我々は『永劫快姫』を作らせていただきました。

『絶対隷奴』が上級ルールまで含んだものだったため、追加としてどんなものを掲載しようかと、随分迷い、二転三転したものです。様々な要素が提案されては消され、縮小され、拡大され……そして今の形になりました。

これが最高のものかどうかはわかりません。
しかし、私たちが出せる最高のものを用意させていただいたつもりです。

今回の『永劫快姫』は前回にも増して迷惑をかけた'emeth'さんの尽力、無理を聞いていただいた絵師の皆様の協力、アイデアを提供いただいた多くの方々の助力によってできあがりました。特に相方の'emeth'さんには、随分と甘えを持って仕事をしてしまい、なかなか自分の作品と胸を張れないほどです。

我々の悪戦苦闘と妄想妄言の結露とも言える本作を楽しんでいただければ、それに勝る喜びはありません。

では堅苦しい言葉はここまでにして。
皆様、よき隷奴を。

汎用追加セクシヨ



絶対隷奴
サブリミナル
去来 姫
Eternal Pleasure

追加アーキタイプ



▼粘液母体 / Slime Queen

Illustrator : PFALZ

HP : 35	MP : 25	PP : 30
装甲 : 5	ダメージ : 11	
戦闘 : 6	調教 : 6	体力 : 7
運動 : 5	奉仕 : 7	魔力 : 5
情報 : 5	誘惑 : 7	自尊 : 6

特性 : 豊穣の乳房、粘液の肌、再生能力

装備 : 簡易装甲 (衣装/装甲+5)、魔奴隷 (配下)、闇の牢獄 (装飾)

所持金 : 1ソウル

アイテム : 淫魔の鞭 (両手/ダメージ+5、追加効果『発情0』)

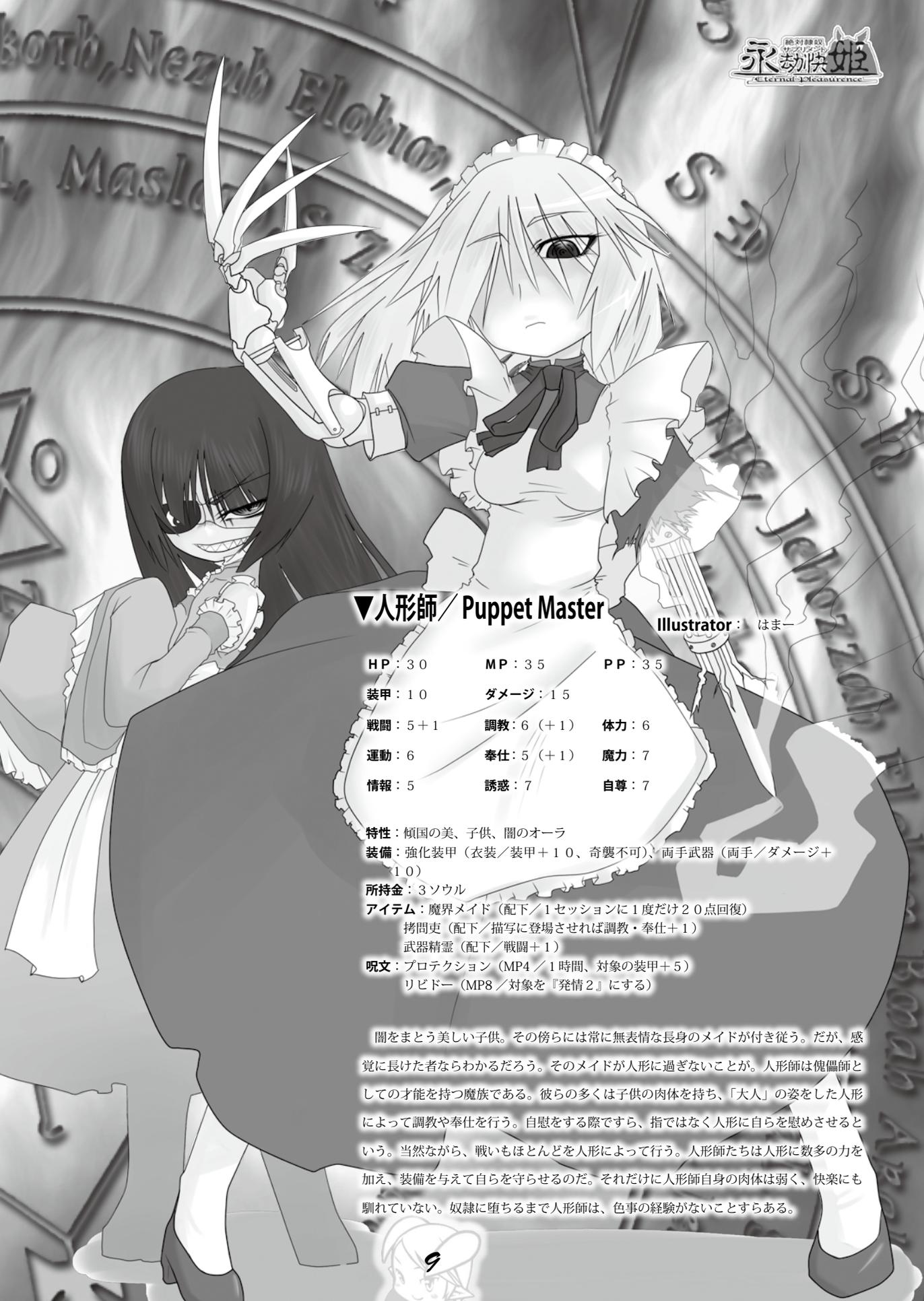
淫欲軟膏 (装飾/陵辱判定に成功した際、対象を『発情0』)

催淫ガス (装飾/1セッションに一度、全体攻撃『発情2』)

呪文 : ルミナス (MP12/3時間、奉仕・調教は2度サイコロを振り望む結果を選んでよい)

シェイプチェンジ (MP4/一日、性別・年齢・魔族特性一つのいずれかを変更)

知能あるスライム、特にシースルーは魔族の精を取り込み続けることで魔族化することがある。こうして生まれた不定形の粘液魔族は、色事に適応した多くの能力を己の肉体に備える。そう、彼らは自らの体を変質させ、能力を発動させるのだ。硬化して盾となり、亜空間化した自らの内に奴隷を飲み込み、繰り出す触手で敵を打ち、媚薬を発する。ある程度なら自らの形質を変化させることも、一時的に分裂して自らを奉仕したり二人がかりで敵を襲うことも自由自在だ。道具や呪文に等しい力を、肉体能力として発動させる驚くべき存在。魔界にはそんなものがあることを、知っておいて損はないだろう。



▼人形師 / Puppet Master

Illustrator : はまー

HP : 30	MP : 35	PP : 35
装甲 : 10	ダメージ : 15	
戦闘 : 5 + 1	調教 : 6 (+1)	体力 : 6
運動 : 6	奉仕 : 5 (+1)	魔力 : 7
情報 : 5	誘惑 : 7	自尊 : 7

特性 : 傾国の美、子供、闇のオーラ

装備 : 強化装甲 (衣装 / 装甲 + 10、奇襲不可)、両手武器 (両手 / ダメージ + 10)

所持金 : 3ソウル

アイテム : 魔界メイド (配下 / 1セッションに1度だけ20点回復)

拷問吏 (配下 / 描写に登場させれば調教・奉仕 + 1)

武器精霊 (配下 / 戦闘 + 1)

呪文 : プロテクション (MP4 / 1時間、対象の装甲 + 5)

リビドー (MP8 / 対象を『発情2』にする)

闇をまとった美しい子供。その傍らには常に無表情な長身のメイドが付き従う。だが、感覚に長けた者ならわかるだろう。そのメイドが人形に過ぎないことが、人形師は傀儡師としての才能を持つ魔族である。彼らの多くは子供の肉体を持ち、「大人」の姿をした人形によって調教や奉仕を行う。自慰をする際ですら、指ではなく人形に自らを慰めさせるといふ。当然ながら、戦いもほとんどを人形によって行う。人形師たちは人形に数多の力を加え、装備を与えて自らを守らせるのだ。それだけに人形師自身の肉体は弱く、快楽にも馴れていない。奴隷に墮ちるまで人形師は、色事の経験がないことすらある。

▼女王狼 / Master Wolf

Illustrator: エンジェルダスト

HP: 25	MP: 35	PP: 30
装甲: 5	ダメージ: 5	
戦闘: 5	調教: 5	体力: 5
運動: 7 (+2)	奉仕: 7	魔力: 7 (+2)
情報: 6	誘惑: 6	自尊: 6+2

特性: 獣人、支配の魔眼、闇の紋章

装備: 簡易装甲 (衣装/装甲+5)、盾 (片手/回避+1)、魔奴隷 (配下)

所持金: 4ソウル

アイテム: 抗魔の盾 (片手/回避+1、魔力抵抗+2)
魔王珠 (装飾/自尊+2)

呪文: パーサーク (MP8/1時間、対象の戦闘+2)

パラライズ (MP6/1時間、対象の運動-2)

ダイナスト (MP6/1時間、対象の調教+2)

野蛮なワーウルフたちを支配する女獣人である。誤解されることが多いが、彼女たちは決して無骨な存在ではない。むしろ、色事と魔法に長けたとても優雅な魔族だ。獣人としての敏捷性で敵の一撃を回避しつつ、率いる群れを魔法で支援する。集団の中での確かな役割を持つがゆえに、彼女たちは恐ろしい存在となるのだ。ただし、それだけに群れを失えばその脅威も消える。群れを滅ぼされたり奪われたりし、一人で魔界をさまよう女王狼は少なくない。群れを作ろうとする本能が彼女に奴隷を求めさせる。再び奴隷を得、強力な存在となる者もいるが……多くは奴隷市場の檻に入れられることとなるだろう。

▼狂王 / Mad Overlord

Illustrator : Macop.

HP : 30	MP : 25	PP : 30
装甲 : 10	ダメージ : 11	
戦闘 : 6	調教 : 7	体力 : 5
運動 : 6 (+1)	奉仕 : 7	魔力 : 5
情報 : 5-1	誘惑 : 7+1	自尊 : 6+2

特性 : 支配の魔眼、人間、傾国の美
装備 : 盾 (片手/回避+1)、魔奴隷 (配下)、闇の牢獄 (装飾)
所持金 : 3ソウル
アイテム : 吸血剣 (片手/ダメージ+5、与えたダメージ分回復)
 暗黒甲冑 (衣装/装甲+10、自尊+1)
 淫蛇 (配下/誘惑+1、自尊+1、情報-1)
呪文 : オーク (MP2/オーク1体を召喚支配)
 ヘルハウンド (MP16/ヘルハウンド1体を召喚支配)

暴君、傾国の悪女、災いの王、残虐公、独裁者。人間界であっても絶対権力の中では時として、生きながら生身で魔界へと落ちてくる者が現れる。彼らはそれぞれの世界で伝説の王だ。賢王ではなく愚王、名君ではなく暗君として。己の欲望を絶対化した彼らの、魔界へ落ちた姿は美しい。貪欲すぎる魂が、求める己をそのままに具現するのだ。人間の世でそうであったように、彼らは傲慢に傲慢に、全てを蔑みながら魔界を歩む。多くの配下を引き連れ、御輿に乗っていることすらあるだろう。狂王の多くはいずれ身の程を知り、奴隷となる。だが、時にはその傲慢のままに魔王へ登りつめる者もいるかもしれない。

▼魔界司書 / Library Demon

Illustrator: みゃー



HP: 30 MP: 30 PP: 30
 装甲: 3 ダメージ: 10
 戦闘: 5 調教: 6 体力: 6
 運動: 5 (+1) 奉仕: 6 魔力: 6+1
 情報: 8 誘惑: 6+2 自尊: 6

特性: メガネ、使い魔（魔道書）、悪魔の尾
装備: 盾（片手／回避+1）、魔奴隷（配下）、闇の牢獄（装飾）
所持金: 5ソウル
アイテム: 呪法典（片手／魔力+1）
 魔娼着（衣装／装甲+3、誘惑+2）
呪文: ドレインライフ（MP10／対象に10＋魔力の闇ダメージ、与えたダメージ分HP・MP・PPのいずれかを回復）
 パニッシュ（MP8／階級が同じかより低いモンスター1体を退散させる）
 ネイキッドロア（MP6／対象の衣装アイテムを強制装備解除）

魔界図書館で働く司書たち。戦いの腕は劣るものの、高い情報力を誇り、魔道書のサポートを受けた魔力も強力だ。また、魔界図書館では接客として娼婦の真似事をすることも多く、色事についても十分な能力を持っている。魔界司書たちは、魔界に散乱した魔道書、淫書の類を収集すべく、図書館の外でも活発に活動している。たかが文官と侮ってはならない。彼らは状況により、盗賊にも商人にも娼婦にも謀報員にもなるのだ。腕利きの魔界司書ともなれば、グリモワールやスフィンクスと共に自らの図書館を築くべく旅をしている。その手に稀行書を持つ者がいれば、彼らは必ずそれを知り、現れることだろう。

追加ルール

汎用追加セクション



< 追 加 ル ー ル >

この章で追加されるルールやデータはいずれも、本来の絶対隷奴に不自由を感じた人、物足りなくなった人のためのものだ。

これらを導入するかどうかは、最終的にはGMが決定すること。また、GMは一部のデータやルールだけを導入してもよい。

< 魔 族 背 景 >

魔族たちの大部分は、魔界の瘴気が形を成し、意識を持った存在だ。それゆえに生まれた時から成長した姿であり、相応の知識を持ち、戦うことも魔術の行使もできる。とはいえ、魔族同士之交合から生まれる者や、人間や天使が墮落した者もあり、その誕生は一定ではない。

また、PCが生まれただけの魔族とも限らない。PCとして活動を始めるまでに、様々な過去や出来事があってもいいはずなのだ。

そこで、ここに36種類の背景を用意した。

これらはPCやNPCを作るにあたって、最初にD66を振るか、選択して決めるものだ。キャンペーンなどのような大きな目的のあるセッションをする際には、GMの方であらかじめいくつかの背景を選んでおいて、PLに提示してもいいだろう。

魔族特性やアイテム・呪文に制限のあるものも多い。背景はキャラクターを作る際、何よりも最初に決定してもらいたい。

魔族背景を持つことは数値的には何の意味もないが、GMやPLのモチベーションを高めるためには役立つはずだ。その後に決めていくデータにおいても様々なイメージを浮かべやすくなる。今まで、魔族のキャラクターが何を考え、どういう目的で行動しているのかわかりづらかったなら、ぜひ一度使ってみていただきたい。キャラクターに深みやドラマを持たせることができることは請け合いだ。

さて、魔族背景表では、その内容以外に三つの項目がある。

『推奨』は、その背景を使うにふさわしいアー

キタイプを示す。キャラクター作成を省略し、アーキタイプでのセッションに臨みたい時には参考にさせていただきたい。

『決定』は、その背景を持つための条件だ。その背景を持ったなら、ここに書かれた魔族特性や呪文、アイテム、性別の制限に適合するキャラクターでなくては行けない。基本的には魔族特性が書かれているが、先に「呪文」や「アイテム」と書かれていたり、「性別が～」と書かれているならコモン呪文やコモンアイテム、性別の決定に関わるものである。これらの条件に合うよう、魔族特性や呪文、アイテムは一部決定済みでキャラクター作成をすることになるので注意してほしい。

『目的』は、その背景を持つ魔族が当初、抱えている目的である。魔界で何をしようとしているか、ということをごここでは示している。ただし、これがあくまで当初の目的であることを忘れないでほしい。『魔族背景』は、あくまでいままでの経歴である。それはキャラクターに味を加えるものであっても、未来を縛るものではない。もし、セッションをしていて、しかるべき理由やドラマが生まれたなら、PLはPCの目的をGMと相談の上で変更していてもいい。

では、いよいよ魔族たちの背景を列挙しよう。

ルールとして使用しないとしても、ざっと目を通しておくことでGMならシナリオ発案に、PLなら咄嗟のロールプレイなどに役立つはずだ。



汎用追加ルールとデータ
追加ルール



魔族背景表

ダイス	結果	ダイス	結果	ダイス	結果
1 1	●汚された天使	3 1	●オークの穴奴隷	5 1	●魔界盗賊
1 2	●復習の天使	3 2	●小さな王国	5 2	●戦場の狼
1 3	●淫行天使	3 3	●調教師の逃亡	5 3	●商店経営者
1 4	●悪魔の花嫁	3 4	●傭兵団	5 4	●侵略の尖兵
1 5	●悪の英雄	3 5	●愛馬	5 5	●井の中の蛙
1 6	●迷える人間	3 6	●触手の團	5 6	●水魔
2 1	●辺境からの出立	4 1	●獣のつがい	6 1	●生まれたて
2 2	●恋の奴隷	4 2	●ハーピーの種	6 2	●飽きたる魔王
2 3	●解放の時	4 3	●搾精虜囚	6 3	●領主の子
2 4	●神々の黄昏	4 4	●発情魔	6 4	●太古の魔
2 5	●造られしもの	4 5	●隷属の日々	6 5	●探索者
2 6	●荒ぶる混沌	4 6	●魔界娼婦	6 6	●変異せる怪物

ここにない経歴も

魔族たちの経歴は本当に様々だ。
 当然ながら、たかだか 36 種類に収まり
 などしない。ここに挙げられたものは、最
 も一般的と思われるもののみだ。実際には
 もっと多種多様の経歴が存在するだろう。
 個別のモンスターに関わる経歴はもっと
 多数存在するはずだし、人間界からの来歴
 についても退魔界の神殿娼婦の如く多数存
 在するはずなのだ。
 中でも特に、それぞれの小魔界に密着し
 た経歴について、ここでは全く触れていない。
 例えば、疫病界ならアーバイン軍の一員
 やラーネスの愛妾、サリーナの子などもい
 るだろう。そうしたNPC絡みでなく、駐
 屯した天使軍、たび重なる戦乱、諜報員の
 暗闘などによる経歴も多数派生するはずだ。
 それに異能界などのような特殊な魔界で
 は、他の魔界では考えられない経歴も多数
 あることだろう。特に異能界で、魔族とし
 て目覚めたばかりならば、経歴は現代人の
 我々が持つようなものとなるに違いない。
 そうした経歴をPLが自ら新しく作ろう
 としている時、GMがそれを止める必要は
 ない。ただし、過去の経歴がPCの有利不

利に関わることがあってはならない。経歴
 はあくまでPCのイメージを強め、目的を
 定めるためのものだ。演出のためのもの
 であり、数値的な有利不利や行動についての
 極端な制限ではない。
 もっとも、それらを考慮した上で、GM
 はPCの経歴を考慮したシナリオを用意す
 べきだし、PLも緻密すぎる経歴をGMに
 押し付けてはならない。GMがストーリー
 性を重視したシナリオを準備しているな
 ら、シナリオに応じた経歴をあらかじめ選
 んでおき、PLにはその中から選んでもら
 うようにするといいたいだろう。
 なお、初心者GMのために言っておく
 なら、PCは魔族であるため導入がほとんど
 必要ない。
 他の魔族の領地や住処に挑む理由は、た
 だ退屈だからとか、強くなりたいからと
 言った理由で十分だ。挑まれた方も世慣れ
 た魔族ならば、いい暇つぶしとばかり、上
 機嫌で応じてくれることだろう。たとえ敗
 北しても、奴隷の境遇を楽しめばいいだけ
 のことなのだから。



1 1 汚された天使

推奨：墮天使

決定：『22：闇の翼』

目的：全て失った……だから、誰か心から愛せる人が欲しい！

天使として魔界に攻め込み、そして魔族に捕らえられた。何度も汚され、犯され、気がつけば翼も黒くなっている。あなたはこの魔界で頼るべきもの全てを失ってしまったのだ。流されるままに生きてきたが、一人はつらい。誰か己をわかってくれる人を。誰か己を愛してくれる人を。あなたはそう望み、魔界を彷徨っているのだ。

1 2 復讐の天使

推奨：墮天使

決定：『22：闇の翼』

目的：あいつらを許せない……だから、天使は墮としてやる！

理不尽な出来事。つまらぬことから目をつけられ、上司に同僚に影で慰み者にされる日々。ことが発覚した時、彼らはあなたに全てを押し付けた。天使でありながら。あなたは天使を許せぬ天使。冤罪の墮天使。魔族に罵られようと誇りは捨てない。だが、天使らは許しておけぬ。しかるべき復讐を。魔族の身にふさわしいものを。

1 3 淫行天使

推奨：墮天使

決定：『22：闇の翼』

目的：もっと気持ちよくなりたい……だから、いろんなプレイを体験する！

かつて天使だったあなた。しかし、天使にあるまじき淫行の数々が暴かれ、その地位を失墜した。さらに淫乱なあなたは、快楽を求めるまま人間界ではとうてい満足できず、魔界へ落ちてきたのだ。そして魔界で、その性癖はおおいに歓迎される。かつての同僚以外になら、どんな相手でもあなたは淫らな笑みを浮かべるだろう。

1 4 悪魔の花嫁

推奨：暗黒騎士、魔道士、吸血鬼、屍鬼

決定：『42：人間』『53：不死者』のいずれか

目的：このままでは終わらない……だから、魔王になる！

魔族に見初められて連れ去られて来たあなた。かつて人間だったあなたが、ダムンドになることもなく幾年も魔界で過ごす内、魔族と化した。先日、主が倒されたのはいい機会だ。ようやく手に入れた自由の中、せめて魔族としての幸せを手に入れてみせる。時間は無限にある。権力と武力を手に入れ、己の王国をこの土地に作るのだ。

1 5 悪の英雄

推奨：狂王、暗黒騎士、魔道士、吸血鬼、屍鬼

決定：『42：人間』『53：不死者』のいずれか

目的：魔界の全てを手に入れる……だから、大魔王になる！

人間界で悪逆非道の限りを尽くし、人の身で自ら暗黒道を望み、魔界へと墮ちて来た存在。それがあなただ。故郷の世界をさんざんに蹂躪したあなたは、この魔界でも邪悪な魂の赴くままに全てを手に入れようとするだろう。何もかも手に入れる。何もかも滅ぼす。何もかも汚す。他の欲望とぶつかりあいつつ、あなたは高みを目指す。

1 6 迷える人間

推奨：暗黒騎士、魔道士、狂王

決定：『42：人間』

目的：故郷の人間界に帰りたい……だから、大魔将になる！

時として人間界から魔界へと、迷い込んでしまう人間がいる。あなたもそんな不幸な者の一人。並の人間なら頭のおかしくなってしまうような、この恐ろしい魔界へ生きながら来てしまったのだ。それでも、あなたには魔界を生き抜く力と幸運がありつた。どんな姿になろうとも元の世界に帰る……その想いがあなたを支えている。



2 1 辺境からの出立

推奨：巨鬼、闇妖精、蛇妖女、魔獣

決定：『4 2：人間』『5 3：不死者』は不可

目的：故郷にこもってられない……だから、外で結婚相手を見つける！

同じタイプの魔族ばかりで集まった小さな辺境の集落に、あなたは生まれた。近親交配が続いて似た姿ばかりになった一族。野心も刺激のない家族。けれど、あなたはそんな中で埋もれていくくない。時折訪れる旅人に憧れ、あなたは集落を飛び出した。でも、ここには帰って来るつもりだ。外を十分に味わってから。

2 2 恋の奴隷

推奨：なし

決定：なし

目的：この恋はどうしても消えない……だから、あの人と恋人になる！

世界の全てが変わるような恋をした。何をしても、あの人忘れられない。どんな誘惑も調教も奉仕も、あの人を思い出させるばかり。あなたは今や、その恋を遂げるためだけに生きている。恋の結末がどうなるかはわからないが、それは誰にも止められないのだ。魔界の恋の花、無事に実を結ぶかどうかは、ただただあなた次第。

2 3 解放の時

推奨：なし

決定：なし

目的：ずっと一人ぼっちだった……だから、いろんな人と会って話をする！

あなたの生まれた場所は閉ざされた迷宮の中。外に世界があることを知っていても、出ることのできなかった場所。しかし、ある日起きた地震で外へ通じる穴ができる。あなたは長年の孤独な古巣を捨て、広い外へと飛び出した。ひとりぼっちはもう終わりだ。いろんな人に出会いたい。奴隷とか支配とかよりとにかく、いろんな人に会いたいのだ。

2 4 神々の黄昏

推奨：阿修羅、蛇妖女、黒山羊、巨鬼

決定：なし

目的：再び人間界に攻め込み支配する……だから、大魔将になろう！

あなたはある人間界において神と崇められ、人間たちの崇拝を受けていた。しかし、他の神（それが天使か魔族かはわからない）との勢力争いに敗れ、力の大部分を失った上に魔界へと追放されたのだ。このままでは終われない。魔界で力を再び蓄え、あの人間界へと攻め込むのだ。そして必ずや勝利を。支配を。崇拝を。

2 5 造られしもの

推奨：屍鬼、粘液母体

決定：なし

目的：あいつの人形じゃない……だから、自分の幸せを見つけてみせる！

あなたは魔界の瘴気から生まれたわけでも、人間や天使やモンスターが変質したわけでもない。あなたは造られた魔族。造ったのは他の魔族……あるいは人間か。あなたは造物主の言葉に従って、あるいは戦い、あるいは鬪られた。ある日、あなたに自我が芽生える。造物主から逃げ出し、追跡をかわしつつ。あなたは自分について考え始めたのだ。

2 6 荒ぶる混沌

推奨：火炎魔人、阿修羅、蛇妖女、巨鬼

決定：なし

目的：欲望が収まらない……だから、気に入ったものは全てに入れる！

魔界でも殊更に過酷な土地。火山、凍土、砂漠、高山……あなたが生まれたのはそんな場所。混沌のエネルギーが常に荒れ狂う中、魔族の根源たる欲望もまた、とめどなく荒れ狂う。やがて、あなたはその土地でいることさえ放棄し、欲望のままに外へと飛び出した。終わらない狩りの時が始まったのだ。よき収穫を。

追加ル
汎用追加ルールとデータ

3 1 オークの穴奴隷

推奨: なし

決定: 性別が女性か両性具有

目的: 体が陵辱を求めている……だから、もっと危険なところへ行く！

魔族に比べて弱く愚かなオークやワーウルフにあなたは敗北し、巣穴へ監禁された。そしてそこで長く輪姦され、何度も不本意な絶頂を味わわれ、被虐の虜となったのだ。幸い、巣穴が他の魔族やモンスターに滅ぼされた際、あなたも解放された。けれど体は乱暴な陵辱に馴れ切って、輪姦や陵辱を求めずにいられない。

3 2 小さな王国

推奨: 巨鬼、闇妖精、女王狼、魔獣

決定: 呪文『41:オーク』

目的: 手下にちやほやされたい……だから、奴隷を集める！

あなたはオークやワーウルフの巣で支配者として君臨し、飽きるか手下が全滅するまで十分に暴れてきた。略奪の分け前も、手に入れた奴隷も、一番に味わうのはあなただった。しかし今、その巣は他の魔族に滅ぼされ、放浪を余儀なくされている。かしづく連中がいけないのは、何とも不愉快だ。再び王国を作らねば。

3 3 調教師の逃亡

推奨: 闇妖精、淫魔、蛇妖女

決定: アイテム『46:魔界メイド』

目的: こんなやり方は間違ってる……だから、理想を実現する領地を手に入れる！

ダムンドや人間といった、簡単に心折る者たちを事務的に奴隷とし、他人に売りさばっていくことがあなたの生業。しかしある日、あなたは一人の奴隷に執着し、自らのものとしてしまう。そして彼女(彼)を持ち主に返すことなく、逃げ出してしまったのだ。追っ手から逃げつつ、あなたは自らが奴隷たちを囲える身分になろうと決意する。

3 4 傭兵団

推奨: 火炎魔人、阿修羅、女王狼

決定: 呪文『44:ダークウォリアー』

目的: まだまだのしあがらなきゃ……だから、勝てる戦いを！

魔界ではたった一人であろうとも、召喚することで傭兵団となる。あなたが請け負うのは護衛、戦争、奴隷狩り。暇な時には盗賊にもなる。戦いが高売だが、負ける戦いはしない主義。兵士は幾らでも呼び出せる。あなたに必要なのは戦況を読み取る力、雇い主を見定める力。ともあれ満足いく地位を手に入れるまでは戦い続けることになる。

3 5 愛馬

推奨: 暗黒騎士、吸血鬼

決定: 呪文『43:デストリア』

目的: この馬は己の一部……だから、この馬とずっと戦場を駆け続ける！

あなたは一頭のデストリアと心通わせている。あなたとその馬は一心同体。魔族とモンスターながら、深い絆で結ばれ、苦楽を共にしてきた仲なのだ。そして、あなたと彼はいつも戦いを求めている。戦場を二人で駆ける時、敵を倒し攻撃を振り切る時、二人の絆は何よりも固く確かなものとなるのだから。

3 6 触手の園

推奨: 水妖蛇

決定: 『33:肉蛇』『34:触手』のいずれか

目的: 触手はすばらしい……だから、みんなにこの快楽を教えてやる！

沼地か地下迷宮か。無数の触手が蠢く土地にあなたは生まれた。そして淫靡に蠢く触手へと馴れていったのだ。あなたにとって、自らの身をまさぐる触手のない状態など裸でいるも同然。そんな中、魔族でありながらまだ触手に身を沈めたことのない者もいるという。そんな話を聞けば、この快楽を教えてやりたくもなるのではないか。



4 1 獣のつがい

推奨: 魔獣、黒山羊、女王狼
決定: 性別が女性か両性具有
目的: あの人のものが忘れられない……だから、もっとモンスターを誘惑する!

あなたは魔族に生まれてすぐ、ヘルハウンドと出会い、獣の配偶者として過ごしてきた。あなたは何度も四つんばいで夫に貫かれ、同族よりも彼と多くの交わったのだ。不仲か死か、あなたは夫とは別れることとなってしまった。しかし、ことあるごとに夫のものを思い出してしまうのだ。

4 2 ハーピーの種

推奨: なし
決定: 性別が男性か両性具有
目的: 愛する子たちを取り戻さなきゃ……だから、きつとあいつを倒す!

あなたは長い年月、子種を求めるハーピーたちの巢で過ごした……しかし、自らの娘とも交わるハーレムの日々は、ある魔族からの略奪で幕を閉じる。あなたは落ち延びたものの、ハーピーたちは全て連れ去られた。あの理不尽な略奪者を、あなたは許せない。必ず奴を探し、倒してみんなを取り戻してみせる。

4 3 搾精虜囚

推奨: なし
決定: 性別が男性か両性具有
目的: 精液が溜まってしょうがない……だから、射精したい!

あなたは魔界に生まれ間もない頃から、マントラップやエナジーサッカー、クラーケンといったモンスターに囚われ、精液を搾られ続けた。時間の感覚もなくなるほど精液を搾られ、どれだけそうしていたのかも定かではない。何とか解放されたものの……過剰な搾精の日々は、あなたをいくら射精しても満足しない体にしてしまった。

4 4 発情魔

推奨: なし
決定: アイテム『66:淫魔の鏡』
目的: もっといやらしくなりたい……だから、呪いのアイテムを集める!

あなたは己を貶め、辱めることに何よりの快楽を得る。それはきっと、最初にふしだらな装備を持って生まれたからだろう。姿をただだけで誰もがあなたを娼婦同然に扱う。往来で情事を強要されることさえ珍しくない。けれど、そんな日々をあなたが嫌がっているかと言えばそんなことはなく……もっと強い刺激を求めているのだ。

4 5 隷属の日々

推奨: 魔獣、屍鬼、暗黒騎士
決定: 『16:獣人』『42:人間』のいずれか
目的: 一人じゃ何もできない……だから、ご主人様を探す!

あなたは奴隷であることに、長い時間を捧げてきた。誰かに服従し奉仕し、顔色を何う日々を続けて来たのだ。持ち主は度々変わったが、あなたの立場は変わらなかった。あなたは奴隷であることに馴れきっている。突然の自由を得てもどうすればいいかわからない。さしあたってできることは主人となってくれる人物を探すことだけだ。

4 6 魔界娼婦

推奨: 淫魔、黒山羊
決定: 『35:豊穡の乳房』『41:名器』のいずれか
目的: 誰かいい人見つけないと……だから、魔族に会ったら誘惑する!

魔都の随所には裕福な魔族をターゲットにした、魔界の娼婦たちがいる。あなたもまた、娼婦として多くの魔族やモンスターに奉仕して来た身。得るものはソウルよりもむしろ、快楽と刺激。これからはきっと、多くの体に接していくことだろう。とはいえ、血の気や独占欲が強すぎる連中だっている。快適で甘い生活を手に入れるには、ただ受身でもいられないのだ。

追加ル
 汎用追加ルールとデータ

5 1 魔界盗賊

推奨: 闇妖精、巨鬼、魔獣、女王狼

決定: 『15:影化』『16:獣人』『51:巨体』のいずれか

目的: うまく魔界を渡って行こう……だから、とにかく奴隷を増やす!

若手の魔族にとってもっとも容易い道。それが他の魔族やモンスターを襲い奴隷とし、アイテムや呪文を奪う盗賊だ。あなたもまた、そんな一人。弱きを襲い、強きを避ける。とはいえ、同じところでじっと待っているばかりが盗賊のやり方ではない。畏も仕掛けるが、狩りもする。そろそろ狩りの時間だ。

5 2 戦場の狼

推奨: 阿修羅、暗黒騎士、火炎魔人

決定: 『12:狂戦士』『13:戦闘形態』『14:複数の腕』のいずれか

目的: もっと強くなりたい……だから、より強い敵と戦う!

自らを高めるために戦いを繰り返す日々。あなたは傭兵や用心棒、あるいは追剥ぎめいたことをしながら戦いを求めずらい、戦い、暴れてきた。狂犬にも等しいあなたの前に、平穩を求める者は退散し、降伏した。力の探求者として、あなたは戦いを続ける。敗北も勝利も関係なく、戦い続けることだろう。

5 3 商店経営者

推奨: 悪魔、魔道士、人形師、闇妖精

決定: なし

目的: 欲しいものを手に入れるには元手が必要……だから、ソウルを稼ぐ!

あなたはある魔都に落ち着き、商店を営んでいる。経営は順風満帆とは行かないものの、困窮しているわけでもない。自らの流通ルートを広げたり、得意先にサービスしたり、アイテムや呪文を求めて旅をしたり。経営は忙しくも楽しい仕事だ。今のあなたにとって何よりわかりやすい目的はとにかくソウル。ソウルを稼がなくては。

5 4 侵略の尖兵

推奨: 火炎魔人、闇妖精、暗黒騎士、吸血鬼、人形師

決定: なし

目的: 任務は果たさなくては……だから、司令官の命令は絶対だ!

小魔界同士の戦争は、珍しいことではない。舞台たる小魔界へ侵略の手が伸ばされることもあるだろう。そして、そうした侵略軍の末端工作員として、あなたは疫病界に潜入している。潜入部隊のリーダーからは常に様々な指令が下され、それを実行して行かなければならない。故郷で地位を上げるためか、司令官への個人的感情ゆえか。あなたの士気は高い。

5 5 井の中の蛙

推奨: 蛇妖女、闇妖精、巨鬼、女王狼

決定: なし

目的: 己こそが魔界最強……だから、大魔王になる!

さしたる階級にないあなたが、辺境の隅に生まれたために広い世界を知らない。オークやダムドを囲い、近隣ではあなたより強い者が(最初から)いない。よって、あなたは自らが魔界で最も強力な魔族であるとささ過信している。大魔王になるべく旅立った今も、過剰な自信を抱いたままだ。自信の折れる日はいつか、やってくるだろう。

5 6 水魔

推奨: 水妖蛇、粘液母体

決定: 『46:粘液の肌』

目的: 陸の上をもっと知りたい……だから、陸を旅する!

魔界には水域が多くあり、また全ての魔界を分断する混沌の水域たる「魔海」がある。あなたはそんな水の中に生まれ、ずっとそこで過ごしてきた。それが当たり前だと思っていたのだが……ふとしたことから陸の上を見てしまったのだ。遥か高い空と、水の中にはいない魔族やモンスターたちの住む場所。そしてあなたは好奇心のまま、陸を旅し始める。



6 1 生まれたて

推奨：悪魔、淫魔、魔獣、火炎魔人

決定：なし

目的：見るもの全てが珍しい……だから、もっと魔界を見て回りたい！

あなたは瘴気の中から、魔界に実体化して間もない魔族。世界からおぼろげな知識は与えられたものの、まだまだ経験不足は否めない。見るもの全てが刺激的で、起こること全てが斬新で。世界への好奇心でいっぱいのあなたは、興味の向くままに旅を始めることだろう。その旅の中で、真っ白なあなたは様々な色に染められていくのだ。

6 2 飽きたる魔王

推奨：悪魔、淫魔、黒山羊、阿修羅

決定：なし

目的：そろそろ魔人も飽きた……だから、魔王に戻る！

魔王の地位に登りつめた魔族が、その地位と権力に飽きて自ら階級を落とし野に下ることが稀にある。あなたもまた自ら地位を捨て、魔人として生きた。かつていた場所を見上げることは、それなりに楽しい。奴隷の立場、自由な立場、平穏な立場。しかし、そろそろ魔人であることにも飽きた。あなたは再び、魔王への階段に足をかけることにしたのだ。

6 3 領主の子

推奨：悪魔、淫魔、火炎魔人

決定：なし

目的：いつまでも親に頼ってはいられない……だから、自分の領地を手に入れる！

領地を持つ高位魔族らが一時の愛に溺れ、子供を魔界に生み出すことがある。あなたもそんな一人。親である魔将に十分に育てられた後、それなりの装備と財産を与えられて旅に出た。野心と甘えを同居させながら、今まで踏み出さなかった城の外へと出たのだ。世界を知るため、そして親と肩を並べるほどの魔族となるために。

6 4 太古の魔

推奨：魔界司書、悪魔、蛇妖女、人形師

決定：なし

目的：再び一つになる魔界を見届ける……だから、死ぬわけにはいかない！

魔界が一つの頃から、あなたは存在し続けている。長い長い年月を、過ぎた力を求めるでもなく、じっと時を過ごしてきたのだ。しかし、魔界が引き裂かれた時のこと、空を覆った天使の群れのことは忘れられない出来事だ。再び魔界が一つになることを、あなたは願わずにいられない。あるいは、遠く離れてしまった小魔界に大切な人がいるのかも……。

6 5 探索者

推奨：魔道士、魔界司書

決定：なし

目的：もっと魔界の全てを知りたい……だから、旅をして調べる！

あなたは魔界の歴史や魔族の存在について大きな関心を持っている。そして永劫に近い時間を知識を求めて生きている。しかし、書齋で知ることのできる知識は限られたものだ。あなたが知りたい謎は、危険な遺跡や領主の宝物庫に納められている。いずれも行くだけで大冒険となるだろうが、それでもこの好奇心を止めることはもうできない。

6 6 変異せる怪物

推奨：魔獣、粘液母体、屍鬼、巨鬼

決定：なし

目的：同族をもっと増やしたい……だから、孕ませ孕む！

あなたは元々は一介のモンスター。ただ、長い年月を経たり、瘴気の吹き溜まりに住んでいたせいで魔族となることができたのだ。魔族となったあなただが、モンスターとしての本能は根付いている。己の特性を受け継いだものを、もっと増やしたいのだ。それだけに、あなたの行為は常に生殖の意図を持って行われることとなるだろう。

■ その他の追加ルール

< 失 禁 >

魔族は恐怖という感情を持たないわけではない。魔界は恐怖に満ちた世界であり、それは魔族にとっても例外ではないのだ。

恐るべき相手と出会った時。突然の攻撃に出会った時。恐るべき一撃を受けた時。魔族は恐怖の余り、失禁してしまうことがある。

当然、排泄そのものが恥ずべき行為である魔族にとって、失禁は大きな屈辱だ。

失禁の起きる理由としては以下のものがある。

- 階級が2つ以上高い高い相手と敵対し、自尊判定でその階級の差分の成功値を出せなければ失禁する
- 一度に13点以上のPPダメージを受けてしまったなら失禁する

こうして失禁を発生させたキャラクターは、その場で着衣の上からでも放尿してしまい、その羞恥によって以下の影響を受ける。

- 失禁してしまったなら、5点のPPダメージを受ける
- 失禁してしまったなら、次の能動的行動(行動済なら次ターンの行動)は行えない

なお、このルールは当然ながら、失禁というものを嫌うPLが参加する際に適用すべきではない。



< 階 級 低 下 >

ある程度セッションを続けていればわかることだが、魔族は死なない上、積極的に奴隷を作っていればかなりのスピードで成長する。ならば、魔界はすぐに魔王で溢れてしまうのではないだろうか？

天使に殺されても、一部の極端な魔王に消滅させられても、それ以上のスピードで高い地位の魔族が増えていくのでは……？

一回限りのセッションを繰り返していればそうでもないが、何度もキャンペーンをしていると、魔界は魔王で溢れてしまう。そこで、魔将以上の魔族に限り、自主的に自らの能力値を下げるルールを用意した。

法則は以下の通りだ。

- 能力値を合計3点低下させて、与えたダメージを2倍にしてもよい。この際、能力値を低下させたからといって攻撃の成功値は変化しない。
- 能力値を合計3点低下させて、対象の魔族が人間の能力値いずれかを1点上昇させる。
- 能力値を合計5点低下させて、対象のモンスターが攻め受いずれかを1点上昇させる。

これらの能力値低下によって、現在の階級の能力値条件を失った魔族は、その能力値にふさわしい下の階級へと墮ちる。この階級の低下はセッションの最後に行われるため、望むなら能力値の低下をセッション中に何度も行ってもよい。

ただし、能力値が0以下になるような使い方はできない。

また、魔王や魔将としての階級を失ったなら、所有していた魔王特性も失われる。

こうした階級低下のルールは、高い地位に上りすぎたキャラクターが再び立場を変えて魔界を楽しむべく行うものであり、成長途中のPCに推奨するものではない。



追加モンスター

汎用追加セクション



基本ルールにおける36種類の基本モンスターたちに、さらに淫猥なる存在を加えること14体。

前回に負けず劣らずの存在をそろえさせてもらった。

まあ、魔界というだけに他にもまだまだこういったモンスターはいるだろうが、今回加わったものたちはどれも前回にはなかった概念のものばかり。GM諸氏がオリジナルモンスターを作る参考にしてけてもいい。

データの見方は前回と同様だ。

シナリオに登場させる際には、★の数を見て基本モンスター

と交換してみるといい。

基本ルールのモンスターたちとはまったく違うセッションが味わえるはずだ。



Illustrator: jin

◆ ワーウルフ (☆)

知能：犬並

会話：不可

攻：5 受：4 HP：10

<牙と爪>：攻撃／12ダメージ（通常属性）

<群狼戦術>：部隊化した際、追加で攻・受+1

狼の頭を持ち、全身に獣毛を生やした細身の獣人。手には凶悪な鉤爪を持ち、俊敏な動きと高い筋力を誇る。人間界に住むものは人間に擬態する能力を備えるというが、瘴気たちこめる魔界ではその能力は失われている。

彼らは常に群れで行動し、群れを離れる時でさえも小隊規模で動く。集団で一斉に奇襲するのが彼らの戦法なのだ。しかも、ワーウルフの性欲は強い上に、集団意識の強さゆえ独占という概念がない。捕らえられれば、群れ全体の性欲処理具となることは避けられないだろう。獲物が雌ならば、最初から陵辱を仕

掛けてくることも多い。旅路では、オーク以上に危険なモンスターなのだ。

ワーウルフの群れを支配するのは女王狼である。女王狼はたいてい魔族であり、群れを掌握し、常に奉仕を受けている。多くの女王狼は魔人だが、時には魔将の女王狼が凄まじい規模の群れを率いていることもある。



Illustrator : すぎたにコージ

◆ ケットシー (★)

知能：魔族並に高い
会話：十分以上に可能
攻：6 受：6 HP：25

- <猫なで声>：攻撃／『魅了1』
- <猫かぶり>：魔王の階級にある魔族に化ける（見破るには情報で3成功が必要）
見破られなければ攻・受+3の修正を得、受けたダメージを全て半減（切り上げ）する
見破る機会は初対面時とケットシーが何らかの対抗判定に敗れた際に可能
- <にゃんこ>：受けたダメージが火・氷属性なら2倍のダメージを受ける

魔界の猫には油断できない。ほぼ全てが魔族の使い魔であり、残りはケットシーだからだ。

ケットシーは一見ただの猫だが、話術に長けたモンスターである。なんと、彼らは魔王の姿に化けることができるのだ。これは魔族の認識能力へも作用する強力な変身術であり、見破らない限り魔王その人を相手にしていると信じてしまう。威风堂々とした魔王に変身し、魔族たちを脅したり陵辱したりすることが、ケットシーの常套手段だ。ただ、魔王に変身すると言っても特定の魔王に変身するわけではない。魔王の階級にあると

見える魔族に変身するのみである。

彼らは奴隷商人でもあり、魔王としての顔を利用して魔族を奴隷にしては売りさばっている。その変身した姿を魔王と信じた者は、強力な調教により簡単に奴隷にされてしまうのだ。知能も高く、まだ生まれて間もない魔族たちにはまさに天敵と言っていいだろう。



Illustrator : macop.

◆ シースルー (★)

知能：低い
会話：一応可
攻：7 受：6 HP：20

- <侵食>：攻撃／6ダメージ（通常属性／装甲無視／HP・MP・PPの任意のどれかに与える）
- <粘体>：受けたダメージが通常属性なら無効化
- <増殖>：奉仕による回復の際、上限HPを超えて回復するHPが60に達した際、もう一体のシースルーが発生する

スライムの中でも、特に淫魔として進化したものをシースルーと呼ぶ。身長30～40センチほどの愛らしい少女（外見年齢6+2D6歳）の容姿を持つが、その体は半透明のゼリー状。胸部から下が崩れて粘液の塊になっていることも多い。

食欲な吸精生物であり、男性器を持つものが近づけば腰へ絡みついてくる。粘液そのものの体は容易く衣服の中に染み込み、目的のものに絡みつくだろう。そして全体を蠢かせ、きつく締め、擦り、吸い搾ってくる。吸い上げた精は彼女たちを強め、増殖の基となるのだ。知能の低い彼女たちは犠牲者のえり好み

などしない。オークやデストリアにも平気でしゃぶりつき、凄まじい増殖をする。

増殖に増殖を重ねた彼女たちは、時として一つの泉のように見えることもあるという。もし、男性器を持つ魔族がそこに足を踏み入れてしまったなら……全身にまといつく彼女らから、想像を絶する射精地獄を味わうことになるだろう。



Illustrator : みゃー

◆グリモワール (★★)

知能：人間より高い
 会話：十分に可能
 攻：5 受：8 HP：35

- <大魔法>：攻撃/コモン呪文表で3D66し、出た呪文2つを成功値3で使用
- <魔本化>：攻撃/魔力+1、情報+1のアンコモン装飾アイテム『大魔法書』に変身する
- <書物>：受けたダメージが火属性なら2倍

魔法書。魔界でこそありふれた道具だが、人の世にあればおそれるべき逸品だ。強力な魔法書は、数多の呪文を内に秘めている。時には自ら人の姿を取り、動き始めることすらあるのだ。そしてそれが、グリモワールと呼ばれるこのモンスターである。グリモワールは自らの内に秘めた知識同様、魅力的で知的な女性（外見年齢3D6+5歳）の姿をしている。その容姿や衣装はどことなく、本来の姿である魔法書の装填に似ていることだろう。

グリモワールたちは誇りを持って自らの主を探している。強

い魔力を持つ彼女らを倒すことは簡単ではないが、倒し隷属させることに成功すれば忠実な部下となってくれることだろう。グリモワールはいつなりとも魔法書の姿に戻り、主の魔力と叡智を高めてくれる。もちろん、色事の相手としても魅力的な肢体を持っている。

なお、グリモワールの中には、さらに稀少な効果の魔法書を正体とするものがあるとも言われているが……。



Illustrator : V-zEn

◆スペクター (★★)

知能：人間よりやや低い
 会話：可能
 攻：6 受：7 HP：30

- <接触>：攻撃/10ダメージ（PPダメージ/2回攻撃/魔力で回避）
 命中ごとにスペクターのHP5点回復
- <呪怨>：攻撃が同時に同対象へ2回命中した際に発動
 スペクターの現HPとHP上限を+15（セッション終了まで）
- <霊体>：受けたダメージが通常・闇属性なら無効

強い未練を持った人間の霊魂が、人格を伴って魔界へ落ちて来ることがある。たいていは時と共に魔界の瘴気に分解されてしまうが、時として魔族に匹敵する力を得る霊もある。それがスペクターだ。彼らは半透明に透き通るような陰気な人間の姿をしており、多くは無口である。浮遊し、無機物をすりぬけながら移動する。どこか儚げな美しさを備えており、魔族の目にも魅力的に映ることだろう。

スペクターは不安定な存在であり、安定した存在である魔族のエッセンスを常に求めている。その霊体の手は、魔族の体か

ら魔力と精神力だけを吸い取るように奪う。もし彼らの餌えた抱擁を受ければ、例え魔族でも魂を半ば削られてしまうことだろう。そして吸えるだけ吸った後は、その存在の精髓をさらに奪うために性交を強要してくる。魔族の魔力と精を大量に得ることで、彼らは魔族へと昇華するのだ。

スペクターの接触は奴隷にした後も危険である。ゆえに多くの魔族は、彼らの動きを封じてからその霊的な肉体を味わうという。



Illustrator : FEY/TAS

◆プレグナントワーム(★★)

知能：本能のみ
会話：不可
攻：7 受：6 HP：45

- <絡みつき>：攻撃／『拘束2』
- <魔力吸収>：攻撃／10ダメージ（MPダメージ）
- <産卵>：<魔力吸収>の成功した相手には陵辱判定に自動成功する（シーン終了まで持続）
- <異形>：PPダメージ・ステータス異常・奉仕による回復を受け付けない

地下や沼沢地に住む、毒々しい色をしたウミウシ状のワーム。体長3～4メートルはあり、魔族を見つけると襲いかかって来る。体表に生える幾本もの触手で、獲物を捕らえ拘束する。この触手は太く短いが強靱な上、一本一本が産卵管としての機能を備えている。そう、プレグナントワームは魔族の体内に卵を産みつけ、内から陵辱してくるモンスターなのだ。

捕らえられた者はまず、魔力を吸われる。魔力は卵に変えられ、口や秘所、菊座からねじこんだ触手によって魔族の体内へと産卵される。卵はおおよそ半日で孵化するが、さらに半日は魔

族を内から陵辱しなければ体外へと這い出してはこない。何体もの小さなワームが這い出す擬似出産は、魔族にとっても強烈な快感と苦痛だ。そして助けが現れぬ限り、産卵と出産は幾度も繰り返される。

プレグナントワームとの交合は、魔界でも最も屈辱的な拷問の一つだ。しかし、一部の極めて淫乱な魔族の中には、この行為の虜となる者もいるという。



Illustrator : はまー

◆ドライアド(★★)

知能：魔族並
会話：可
攻：8 受：8 HP：20

- <呪文>：攻撃／1～6の望む数値を十の位とし、一の位を1D6で決定して11～66の数値を作る
コモン呪文表でその数値の呪文を成功値2で使用する
- <融合合体>：一行動を使用してモンスター1体を指定する（一体指定中は追加でこの行動はとれない）
対象モンスターのHPが0になるまでドライアドは一切ダメージを受けない

つる草の枝葉を思わせる緑の髪をした美しい少女型モンスター（外見年齢2D6+8歳）。冷たい肌は白色であることが多いが、褐色や薄緑のこともある。また、その髪は枝葉そのものであり、彼女の意志のままに絡みつく。ドライアドは姿こそ人型だが、肉體構造は植物に近い。

ドライアドは高い知能を持った寄生植物であり、体中から根を生やして他のモンスターに絡みつくことで融合する。数々の呪文を使いこなす彼女らは、取るに足らないモンスターをも恐るべき強敵に変えることだろう。しかも融合しているドライアド

を、宿主より先に倒すことはできない。魔族と手を組むことを好まない高位モンスターには、彼女らと手を組むものも多く、注意が必要である。

幸いと言うべきか、残念と言うべきか、魔族は存在が安定しすぎているため、ドライアドとの融合ができない。しかし、戦いと色事で呪文を使い分けることのできるドライアドは、多くの局面で重宝する奴隷だ。手に入れて損はないだろう。



Illustrator: しあろぼ

◆ピットシェイカー (★★)

知能: 低い
 会話: 一応可能
 攻: 7 受: 7 HP: 40

<利便臭>: 攻撃/『便意0』(全体攻撃/体力で回避)
 <組み付き>: 攻撃/『拘束0』(同時に一体に対してのみ)
 <直腸侵食>: 『便意』か『拘束』状態の相手に陵辱判定せずに調教可

白痴美に満ちた異形の女性型モンスター(外見年齢15+2D6歳)。体は身長2メートルを超え、四肢が長い。軟体のノズルのような管が肩や背から突き出している上、頭部を囲むように強靱な4本の触手を供えている。体色は環境や固体によるが、白や青、紫、緑など、生物的でない色が多い。

ピットシェイカーはエナジーサッカーの亜種であり、より変質的な餌を求める。彼女たちの餌は、魔族や他モンスターの排泄物であり、低くとも確かな知能を活かしてそれを得ようとする。体中に生えた管からは便意を催させるガスを発し、捕らえ

た相手には即座に尻に食いついてくる。頭部に生える四本の触手は的確に獲物を捕らえ、驚くほど長い舌が腸内を陵辱してくるのだ。

排泄は多くの魔族にとって耐え難い恥辱である。ゆえに彼女らは嫌われ、野性のはほとんど生き残っていない。それでも彼女らを受容する魔族は確実に存在する。ピットシェイカーを見たなら注意せよ。そこには彼女らを受容する、変質的な魔族が住んでいるはずなのだ。



Illustrator: けるべろす

◆スフィンクス (★★)

知能: 魔族より高い
 会話: 十分に可能
 攻: 6 受: 7 HP: 35
 防御: なし

<呪文>: 攻撃/1~6の望む数値を十の位とし、一の位を1D6で決定して11~66の数値を作る
 コモン呪文表でその数値の呪文を成功値2で使用する
 <呪文予知>: あらゆる呪文に対する抵抗に自動成功する
 <賢者>: 自尊判定および、知識に関する情報判定は全て成功値5で自動成功する

美しい女性(外見年齢15+2D6歳)の頭と乳房を持つライオン。背中にはワシの翼があり、尾は毒蛇となっている。魔界でもドラゴンに次ぐ古参のモンスターであり、太古からの知識を蓄える貴重な存在だ。性質は穏やかだが無知な者を見下す傾向が強く、たとえ魔族であっても知的な態度や礼節が求められるだろう。魔族の勢力争いや主従関係に興味がなく、森や荒野に隠遁していることが多い。

その叡智と魔力は高位の魔族にとっても貴重な戦力だが、スフィンクスを奴隷にすることは容易ではない。賢く理性的であ

るがゆえに、彼らは恥じることなく逃亡を選ぶことが多いのだ。礼をわきまえ、豊富な知識を示せば自ら部下となってくれることもあるというのが……。

超然としたスフィンクスは、色事についても冷淡だと言われることが多い。しかし、これは陵辱や誘惑を試みた者たちの印象だろう。友情や忠誠を誓った相手に対し、彼女たちはたいへんに情熱的な愛人となるし、奴隷を得た際もすばらしい主となる。彼女らと出会ったら、まずは態度に気をつけることだ。



Illustrator: しあろぼ

◆ピローストーク (★★)

知能：魔族並
会話：可能
攻：7 受：7 HP：35

- <受胎告知>：攻撃/『妊娠』（自尊で回避）
- <取替えっ子>：攻撃/モンスター表で1D66を振り、対象の出産する子を出目のモンスターに変える（自尊で回避）
『妊娠』している他対象にのみ使用可
- <飛行>：飛行移動、回避判定+2

受胎天使、姑獲鳥、聖なるコウノトリ……数多の名前をつけられた妖鳥。薄布をまとった美しい女性（外見年齢12+3D6歳）の姿をしており、背に一对の白い翼を持つ。四肢はほっそりとして、先端がウロコ状の硬質の皮膚で覆われ、猛禽の鉤爪を備えている。

彼女たちは二つ名の通り、子供をもたらしたり、取り替えたりする存在だ。天使・魔族の区別すらなく、子をもたらす。人間界では天使の一種と考えられていることさえあり、天界の一部でも歓迎されているという。魔界でも例外的に、他世界にお

いて活躍するモンスターと言えるだろう。

ただ、任意に子を作ることのできる（というより作ることを好む）魔族たちの間では、唐突に子を孕ませるピローストークは疎まれがちだ。よって、魔界で彼女たちを見かけることは少ない。高い知能を持つがゆえに、多くの彼女たちは魔界を飛び立ってしまうのだ。近年、懐妊や出産を好む魔族たちが、魔界での保護地域を熱心に作っているとも言うが……。



Illustrator: 吉井徹

◆エビルアイ (★★)

知能：人間並
会話：たどたどしいが一応可
攻：6 受：7 HP：40

- <怪光線>：攻撃/『発情2』『魅了0』『拘束0』のいずれかを与える
- <視姦>：エビルアイを対象とした行動を取る者は、PPに2ダメージを自動的に受ける
- <反魔法生命>：視界内においてあらゆる呪文は発動しない

邪眼、睨むもの、バックベアード、スカイライン……数多の名で知られる魔界でも最古参のモンスター。巨大な眼球と裂けた口を持つ球体であり、さらに囲むように先端が眼球となった触手が生えている。大きさは中心部だけで直径1メートルはあり、それぞれの触手も1メートル近い。浮遊して移動し、長い舌を常に蠢かせながら獲物を探している。魔力の動きを視線によって停止させる能力があり、あらゆる呪文を一睨みで打ち消すべき存在だ。

異形の姿を持つエビルアイだが意外にも知性を持ち、魔界の

現在の法則にも適応している。つまり、彼らは好色なのだ。目からは数多の淫らな光線を放ち、獲物を捕らえては触手と舌で鬨り、痴態をじっと視姦する。そしてまた、卑猥な言葉をかけては反応を楽しむのだ。性器も手も持たぬエビルアイの行為は終わりがなく、粘着質で下劣である。高位の魔族の中には、拷問吏として彼らを迎える者もいるという。

◆ルストリッカー (★★★)



Illustrator: しあろぼ

知能: 低い
会話: 不明瞭 (フェラ語)
攻: 8 受: 8 HP: 55

- <超舌>: 奉仕・調教判定+2
- <淫猥>: 毎ターン開始時、視界内の全員は自尊で3成功しなければ『魅了0』となる
- <快樂中毒>: 調教された際、調教者に自動的に8点のPPダメージを与える
- <慢性自慰>: HPが毎ターン10点回復する

ごく稀に、十分な栄養を得たエナジーサッカーが羽化するように巣を這い出し、この怪物、ルストリッカーに変化する。

遠目には美しい女かつ淫猥な姿を見誤ることはない。口からは何本もの舌が溢れ出すように伸び、蠢き、だらだらと甘い唾液を垂らしている。彼女らは常に裸体であり、女性器や菊座からも同様の舌が生え出している。彼女らの皮の下では無数の舌がヒルのように蠢いており、切りつけば傷口からも舌が伸びて蠢き始めるのだ。

彼女たちはふらふらと魔界をさまよい、男性器を持つ者を見つければしゃぶりついてくる。彼女らは幼生時以上に貪欲な吸精者であり、啜えた獲物は離さない。新たな獲物が来ても啜えたまま、別の獲物を襲うほどだ。無数の舌が別個に蠢く吸引は文字通り筆舌に尽くしがたく、一度でも味わった者は自ら奴隷になろうするほどだという。

◆ウロボロス (★★★)



Illustrator: ラチヲヘッド

知能: 不明
会話: 不可
攻: 8 受: 7 HP: 50

- <吸引&挿入>: 攻撃/3ダメージ (PPダメージ/2回攻撃/自尊で回避)
- <蠕動>: ダメージを受けた際、ウロボロスが攻撃している対象のPPに同ダメージを与える
- <陰陽反転>: ウロボロスの攻撃か能力によりPPが0となったなら対象は『行動不能』となり、天使は魔族に、魔族は天使に、人間は逆の性別に肉体が変容する
- <出現>: ウロボロスが登場して最初の攻撃は絶対成功の奇襲である
- <異形>: PPダメージ・ステータス異常・奉仕による回復を受け付けない

全てが謎に包まれた蛇型モンスター。蛇とは言うものの尾はなく、体の両側に頭がある。頭には目も鼻もなく、体にはウロコさえない。ぬらぬらとしたピンク色の粘膜で包まれた体は1メートルほどしかないものの、実に恐るべき怪物である。自らの頭をもう一つの頭で飲み込むことで、あらゆる世界から一時的に「消える」ことができ、瞬間的に現れるウロボロスの襲撃を避けることは魔王ですら不可能なのだ。

ウロボロスの頭部はちょうど大きめの男性器の形をしており、また口を開けばその口の中はびっしりと肉突起で覆われた

肉孔となっている。そして、この頭部を使ってウロボロスは犠牲者を陵辱するのだ。この陵辱は存在の根底事態を揺るがせるものであり、犯し続けられれば全てが変容してしまう。この怪蛇の発見例がほとんどないということは、何よりの幸運と言えるだろう。ただし、撃退できたという例は数件しかない。彼らは一体の対象を変容させれば、そのまま「消えて」しまうのだ。



Illustrator: しげちー

◆ ノーム (★★★)

知能：魔族並
会話：可能
攻：6 受：10 HP：40

- <鉄槌>：攻撃／25ダメージ(火)
- <呪い>：攻撃／対象の装備する一般・コモンアイテム一つを、コモンアイテム表61～66のいずれかと交換し装備させる(永続)
- <刻印>：一行動使用し、一日の間だけ対象の武器の攻撃ダメージを+5し、火・氷・雷・闇のいずれかの属性を追加で付与する
- <工房>：一行動使用し、5ターン間だけ使用できるコモンアイテム一つを作り出す(種類は任意)
- <重装甲>：受けたHPダメージは自動的に10点減少する

魔界アイテムの大半は、瘴気が魔族の肉体に絡みつぎ具現化したものだ。しかし、アイテムを生産している存在がいらないわけではない。

それがノーム。幼い少年や少女の姿をした(外見年齢2d6+3歳)魔界の鍛冶士だ。一見すればブラウニーのようだが、その身にまとう重厚な鎧と身長よりも巨大なハンマー、そして意志の強い目を見間違えることはあるまい。

ノームは練達の職人であり、様々なアイテムを瞬時に作り出したり、武器を強化することができる。ただし、ノームは社交

性に欠けて人見知りをする上、享乐的でもない。作ることに喜びを感じるものの、性愛や権力、金銭に対する執着を持たないのだ。彼らを奴隷として従えるには、閉鎖的なその心を開かせて、信頼を築く必要があるだろう。一度従えればノームは素晴らしい従者だ。一人のノームを連れることは、多量のアイテムを所有しているに等しい。

なお、中には淫具を専門とするノームもあり、罫で捕らえた魔族やモンスターに淫らな実験を繰り返しているという。



Illustrator: 竜之介

◆ メデューサ (★★★)

知能：魔族並
会話：可能
攻：7 受：7 HP：45

- <蛇髪>：攻撃／『発情2』+『拘束2』
- <凶眼>：毎ターン開始時、視界内の全員は体力・魔力・自尊の判定全てに成功しなくてはならない一つでも失敗すればHPが0となり『行動不能』、全て失敗すれば『死亡』となるこの効果は<異形>を持つモンスターに対しても有効

魔界でも最も恐れられるモンスターの一つ。頭髪が蛇の群れとなった美しい女性の姿をしており、一見すれば魔族とも見えることだろう。しかしその目は魔族すら死に至らしめる呪いの力で溢れており、見かけよりも遥かに危険な存在である。

彼女たちの性格は個人によって異なる。ただ、その凶眼ゆえに孤独を感じていないメデューサはおらず、力ある魔族からは討伐の対象とされるほどだ。高い知能を持つ彼女たちの中には、自らを悲観している者も少なくない。霧や闇に籠ったり、自らに魔眼封じを着装することもあるのだ。もし、メデューサを見

つけたとしても暴力に頼らず、まずは交渉を試みるべきだろう。そうした方がどちらにとっても、安全でよりよい結果を生み出すはずだ。

なお、メデューサの中には稀に不死性を得て魔族化する者もいる。その者は特にゴルゴンと呼ばれ、独自の魔王特性としてその凶眼の力を魔族となっても維持する。幸い、長い魔界の歴史においてもゴルゴンの存在は五指に満たない。

いつも汚される

あるグリモワール

ふむ、お前が私のマスターか。
何？ 本が人になったのかだと？
……私たちのことをまるで知らないのだな。
お前はまだ魔界にきたばかりなのか？
それともまだ生まれたばかりなのか？
まさか、私たち魔道書のことも知らないのか？ どう
なんだ？

おや、気を悪くしたか？ それは失礼。
安心しろ。どんな頭の悪いヤツにでもわかるよう、私
の知識を授けてやる。

何？ どうして服を脱ぐのかだと？
表紙をめくらねば、本は読めないだろう。
何？ なぜ脚を開くのかだと？
本は開いて読むものだろうが。
さあ、私の中に入って来い……じっくり知識を授けてやる。
あ……ん、はああ……♪ くう、頭と違ってこちらは
凄い、のだなっ……初めて褒めてやれるっ……！
なんだ、そんなだらしな顔をしてっ……！
さあ、しっかり、読めっ……私のこと、を、隅々まで、
残さずっ……！

ん……くう……やっ、こらっ、激しすぎだっ……はあっ
……んっ、私の中がっ、そんなに気持ち、いい、のかっ
……？

はあっ、はあっ……読書の、ときはっ、静かにっ、す
るのが、マナーだというのにつ……！

しかも、ページをこも汚すとは、困ったマスターだ。
この調子では、全部読みきる頃に私はどうなっている
のやら。

何、心配するな。

私はお前の「モノ」だ。どこでもいつでも、知識は与
えてやる。

ふふ、きちんとこうやって……毎回、私のことを隅々
まで読めば、な。



追加モンスター
汎用追加ルールとデータ